

中区 区域まちづくり事業 効果検証シート

事業名称			実施主体			
中区豊かなこころづくり応援事業			中区役所 自治推進課			
事業目的	事業内容	活動指標	R1	R2	R3	
乳児と保護者に絵本を配布したうえで、絵本の読み聞かせを体験してもらい、その重要性を認識してもらう。また、親と子の心のふれあいの契機とすることで、今後も絵本に興味・関心をもってもらうことを目的とする。	BCG接種後に、絵本一冊(複数冊から選択)と子育ての参考となる資料をセットにしたブックスタートパックを配布する。ボランティアによる読み聞かせ体験に対する乳児の反応から、保護者に「読み聞かせ方法」も学んでもらう。また今後、保護者が乳児のために絵本を選ぶ参考となるよう、図書館員がオススメする絵本の展示コーナーも設ける。	絵本配布率 (配布数/接種者数)	97%	99%	100%	
		絵本の読み聞かせの参加人数	397人 <small>(コロナウイルスの影響により読み聞かせ3回分中止)</small>	0人 <small>(コロナウイルスの影響により読み聞かせ24回分中止)</small>	0人 <small>(コロナウイルスの影響により読み聞かせ24回分中止)</small>	
①妥当性	②協働の視点	③インパクト	④効率性			
◎	豊かなこころづくりを応援する事業として、乳児向けの絵本を配布し、読み聞かせの重要性について紹介・実演することにより、保護者同士の交流に寄与して、地域の繋がりを深めることに繋がっているため、公益的である。	△	絵本の読み聞かせを実施できない中、市民ボランティアと連携した区独自の取り組みを実施できなかったが、中図書館職員とともに、配布絵本の選定を行った。	◎	庁内関係部署や協力団体との業務分担を明確に行うことで円滑に運営しており、0歳児に対する事業としては同種事業はないため、効率性は高い。	
⑤自立発展性	総合評価					
△	絵本の紹介や読み聞かせの実演等はボランティアのみでも実施することができるが、配布用絵本の購入費用や地域の乳児に対して広く実施するという点において、行政の関与が必要と考える。	△	新型コロナウイルス感染症により、絵本の紹介、読み聞かせの実演を行うことができなかったが、家庭で過ごす時間が増える中、配布した絵本をきっかけに親子の交流に寄与した。			
今後の方向性(課題、改善提案等)						
拡充 継続 見直し 廃止	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響により、読み聞かせは当面の間中止としているが、乳児が絵本を読む習慣を継続してもらうため、絵本の配布や図書館の利用促進を続ける。 ・令和4年度からBCG接種時ではなく、4カ月児健康診査時での実施へ変更となるが、読み聞かせを健診と同じフロアで実施することができないため、読み聞かせを再開した際に、より多くの方に興味・関心をもって利用いただくためのスムーズな誘導を中保健センター及び中図書館とともに検討する。 					